

新型コロナウイルス関連情報のお知らせ

3月に南知多町デイサービスセンターで新型コロナウイルス陽性者が3名（ご利用者1名、職員2名）確認され、一時営業停止するなど皆様には大変なご心配とご迷惑をおかけしました。

その後陽性者は確認されておりません。

施設内は3月末日に業者による抗菌コーティングを行いました。引き続き、消毒等を徹底し感染対策に努めてまいりますのでよろしくお願い致します。



手作り作品【南知多町デイ】



南知多町デイサービスセンターでは、レクリエーションの時間に小物入れを作りました。あらかじめ職員が牛乳パックで作った容器に、自分で選んだ折り紙を貼り付け、母の日にちなんで、赤いカーネーションとリボンで飾り付けました。カーネーションは、ご利用者がおはな紙で作りました。作っている間は、周りの声が耳に入らないくらい、集中して一生懸命に取り組まれていました。「仏様に見せるわ。」と亡きご両親や奥様を偲んでいらっしゃるご利用者もみえました。

アマビエの正体【理事長コラム】

新型コロナウイルスの蔓延で、妖怪「アマビエ」が全国で流行っている。これを研究者は、「アマビコ」がルーツだという。アマビエは江戸時代に熊本県で出現したことになるが、もっと古い時代に北陸地方で出現したアマビコが原型で、「コ」が「エ」と書き間違われたらしい。

アマビコは漢字で書くと「海彦」であるが、頭は猿で3本の足を持つという。私見では、これは海彦と山彦の神話に由来すると考える。海彦は山彦に滅ぼされている。これも私の推論に過ぎないが、海彦は小臼に殺された大臼であり、猿田彦ではないかと考えているので、猿の顔は当然である。

3本脚は、ヤタガラスの3本脚と同様で、魔力を持つとされる。一日も早くコロナ過が終息してほしいと思う毎日である。



理事長 田中 誠

あい寿の丘 ほっかほか

ふれあいホットニュース

2021年5月 緑風号



あい寿の丘



ひだまり

開所25周年



社会福祉法人南知多（あい寿の丘）は、南知多町役場、みどりの風 南知多病院、ならびに地域の皆様のご協力・ご支援を受け、平成8年5月1日に開所し、おかげさまで令和3年5月1日をもちまして、25周年を迎えることとなりました。これもひとえに地域の皆様、関係各所の皆様の温かいご厚情の賜と、心より御礼申し上げます。

法人理念でもあります、ご利用者の皆様の生活すべての面で基本的人権が守られるように配慮し、手の温かみの伝わる介護を基に、職員一同サービスの提供に努めてまいります。



イースター【あい寿の丘】

イエス・キリストの復活を祝うイースター。キリスト教では卵は生命のシンボルだそうです。布で卵を作り籠に入れて飾りました。

ご利用者は雛や卵のお菓みに「カラフルでかわいいね。」「かわいいから食べるのがもったいないね。」と笑顔で召し上がりました。

インドネシアの実習生も、すこしですが文化交流をした気分になりました。



桜壁面【あい寿の丘】



今年は桜の開花が早く三月末でした。いつも入学式や入社式など、節目・節目の記念写真の背景には桜がありました。そんな思い出を振り返り、顔写真と折り紙を桜の花びらの形に切って、ご利用者と桜のイメージ記念写真を作りました。



お花見ランチ【みなみ苑】

春は、ピクニック!と言いたところですが、コロナ禍で気軽にお出かけが出来ません。そこで、みなみ苑では、気持ちだけでも外出の気分を味わおうと、昼食にサンドウィッチを作って召し上がっていただきました。

いつもと違う昼食に「たまにはいいね」「これ持って出かけられるといいね」「美味しいよ」と皆様、喜んでいました。

気持ちも落ち込みがちの日々ですが、少しでも気分が上がるよう、楽しい雰囲気ですごしていただきたいと思います。



中華おこわを作ってみました【みなみ苑】

みなみ苑で、おやつの際に中華おこわを作ってみました。ごま油、中華調味料を入れご飯を炊き上げました。ちょっとひと工夫して、もち米をすこし入れてあったので、冷めても柔らかくモチツとしてご利用者に好評でした。

「風味が違って、これもいいね」「柔らかくて、食べやすいわ」と喜んでいただきました。



兜づくり【みなみ苑】

みなみ苑のご利用者と、5月の節句に向けて、兜作りをしました。折り紙を切って、牛乳パックで作った兜の型に貼り、平らになっている型を兜の形にまげてと色々な作業がありました。

「手にくっついちゃった」「向きはこれでいいの?」と大変そうでしたが頑張って素敵な兜ができました。最後に安定するように瓶に載せて、固定して出来上がりました。

